

## さらに深める 各委員による 決算審査



各決算について、質疑を通して細かく審査が行われました。果たして、令和5年度予算は市民の皆さんのためにどのように使われたのか？審査の様子は、インターネットでも配信しています。ぜひご覧ください。



映像配信は  
こちらから

## 暮らしを創る生活・まちづくり



市税収入が増加した  
要因は何か

**問** 市税 112億310万円  
前年度比2・6%、2億8084万円の増加となっているが、要因は何か伺う。

**答** 個人住民税と固定資産税で93%を占めている。個人住民税は、給与のベースアップによる給与所得者を中心とした農業所得者など幅広い層の所得が増加したことによるものと考えている。



ふるさと納税、競争  
激化により減

自治体クラウドファンディング型

**問** ふるさとと燕応援寄附金 10億1511万円  
自治体クラウドファンディング型ふるさとと燕応援寄附金で2億3944万円の減額となっているが、その要因分析について伺う。

**答** 仲介サイトである「ふるなび」のシェアが減少し、寄附額が減少した。平成30年度の180自治体から現在は1380自治体



婚活イベントのやり  
なる拡充は

男女の出会いサポート事業 138万円

**問** 参加者が増加傾向にあるが、応募人数はさらに多いのか伺う。また、多いようなら回数を増やす必要があるか。

**答** 応募人数は多いが、実行委員会が手作りのイベントの企画、運営をしているため、現状は2回の開催と考えている。応募人数がさらに増加するようなら回数の増加も今後検討していく。



委託先の決定方法  
は適正か

公共交通運行事業 6621万円

**問** スワロー号増便における委託先はどのように選定したのか。

**答** コミュニティバスの増便に当たっては、事業者の選定方法については、金額だけでなく安全面やサービス面、また運転士の確保という観点も重要であり、今回は増便分についてのみの選定のため、入札は行わず、従来の事業者に増便をお願いした。

## 学ぶ子育て・教育



マイクロバスを  
1台増車

特別支援学校就学援助事業 1145万円

**問** 月ヶ岡特別支援学校へ通う児童生徒が利用するマイクロバスを1台増やしたことについて伺う。

**答** 燕市から月ヶ岡特別支援学校へ通う児童生徒の数が増えたため、マイクロバスを1台増やした。生徒が増えた要因は分からないが、生徒一人一人の特性と教育的ニーズを踏まえた上で、マイクロバスを増やす選択に至ったと認識している。



小中学生の悩みの  
傾向は

学校不適応・ひきこもり相談事業 594万円

**問** 令和5年度は、相談件数413件だが、相談件数の傾向や内容について伺う。

**答** 令和4年度の相談件数は435件で、横ばいとなって



空き家問題解決に  
向けて

空き家等対策連絡協議会事業 31万円

自治体が増加した。掲載返礼品も3万点から現在は50万点を超えるなど、自治体間の競争が激化したことにより、大きく減少したと考えている。(写真A)



子供たちの気持ち  
に寄り添えたか

心の教室相談員派遣事業 92万円

**問** スクールソーシャルワーカーに相談する前の段階でのケアの状況はどうであったのか伺う。

**答** 悩みのある子供たちは様々なニーズを抱えており、学校での対応はもろろんだが、よりよいケアができるようスクールソーシャルワーカーや、相談員等と連携して取り組んでいる。



保育士不足の解消  
に向けて

保育士等修学資金貸付事業 120万円



B 子供や家庭が抱える困りごとを家庭、学校、関係機関の「つなぎ役」として支援するスクールソーシャルワーカーは、重要な福祉の専門家である



決算額が大幅に減つ  
ている要因は

スクールソーシャルワーカー等派遣事業 127万円

**問** 当初予算では、252万円だったが、決算額が127万円となっている。その要因は何か伺う。

**答** 定期的に勤務できるソーシャルワーカーを配置することができず、相談業務があった際にお願する形となり、執行状況が低い状況となっている。(イラストB)



A 旧浄水場配水塔をはじめとした市内文化財の保護を推進するため、クラウドファンディング型ふるさと納税で寄附を募っている



クラウドファン  
ディング型ふる  
さと納税とは

働く  
魅せる

## 産業・観光



新しい産業や技術の  
発展を支援

次世代産業育成支援事業

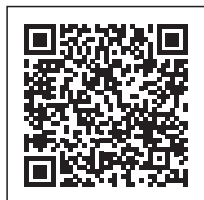
28万円

問

これまで医療機器の試作品として、どのような製品があるのか伺う。

答

燕市医療機器研究会では、令和5年度末現在で累計49案件、約80点の試作研究開発し、6件が臨床現場で実用化している。近年では、外科手術用骨クランプといったものがある。新規参入企業は年々増加している。



燕市医療機器研究会の紹介



農業者の新たな  
チャレンジ拡大

チャレンジ・ファーマー支援事業

2430万円

問

交付数および決算額の増額の要因を伺う。

答

令和4年度は外食産業の低迷により、農業者の方の投資控えがあった。令和5年度には外食産業の業務需要が回復し、米価が上昇に転じたことが、農業者の設備投資を後押しする形となり、交付件数の増加につながったと考えている。



地元就職を考える  
きっかけになったか

つばめJOBサポート事業

501万円

問

高校生への地元就職支援の効果について伺う。

答

参加者の高校生からは、「見学したどの会社もよい会社ばかりで就職したいと思った」という声や、「将来は工業系の仕事に就いてみたい」という声など、地元企業を知る機会、また、就職先として、地元企業を選択するための重要な機会になっていると考えている。

高める  
守る

## 健康・福祉



職員のメンタルヘル  
ス対策は

人事厚生研修費

8552万円

問

療養休暇・休職者は、正規職員の4・5%に当たり、20人に1人の割合となる。現状と対応策について伺う。

答

会計年度任用職員も対象とし、カウンセリングは56人が受けた。心の病気については19人である。しっかりと受け止め、不調者の未然防止、早期発見、復帰支援、再発防止の観点で取り組んでいきたい。



児童を守る体制を  
整備

要保護児童対策事業

1246万円

問

ネグレクト（育児放棄）の件数が年々増加している要因について伺う。

答

親の不注意で、子供に軽微なけがを複数回させていた



利用者の増加に  
応じているのか

障がい児通所支援費支給事業

2億5119万円

問

前年比で3812万円の増だが、実績として受入れ先が足りていたのか伺う。

答

市内にある事業所数は、児童発達支援事業所が5事業所、放課後等デイサービス事業所が7事業所ある。いずれも空きが少なく、新たに利用される児童は、利用する曜日や、回数等を調整しながら利用されている状況である。